

やりがいのあるロータリークラブ 活動を実践しよう!

第2153回例会

令和5年6月5日

本日の例会プログラム 第2154回例会 令和5年6月12日

・年度末報告

出席委員会 池田靖洋委員長 会員増強・分類選考委員会 井野元孝洋委員長
 会報委員会 富井雄二委員長 ロータリー情報委員会 大迫三郎委員長
 米山撰学委員会 野田一孝委員長 広報・雑誌・IT委員会 杉本英一委員長
 ロータリー財団委員会 山地久守委員長

会長挨拶

開地俊昭会長



皆さんこんにちは。

6月を迎え私の年度も残り1か月を迎えることができました。ひとえに皆様のご協力や個人個人のロータリーの理解のたまものだと思っております。ロータリーについて考え、行動を起こすことによって成長を続けるロータリーになっていければと思っております。

その中で2024年までのロータリーの行動計画は「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかかわりを増やす」「適応力を高める」これはマイロータリーからの受け売りですがこの4項目があげられます。きちんとこの4項目を知った上で先日行われたロータリー奉仕デーにおける活動を置き換えると見えてくることがあります。

この「より大きなインパクトをもたらす」という項目に関しては、行動人として、私たちは証拠に基づいて決定するとあり、これはごみの分別化を行いデータにより効果的な方法として定義、測定分析を行う能力を向上させることになります。「参加者の基盤を広げる」に関してはロータリアン以外の方々を誘い、一緒に行動するそのため、インターフェクトやローターアクトなども含めて活動しましょうということであるということがメインだったんだと思います。「参加者の積極的なかかわりを促す」「適応力を高める」というものに関してはいわばもがなという気持ちです。

ただやっていた時にこのような気持でやって

6月の月間 ロータリー親睦活動月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(50)51名	マークアップ数	1名
本日欠席者数	13名	修正出席率	75.51%
本日出席者数	38名	マークアップされた方	
出席率	76.00%	鈴木浩二会員	
ニコニコ BOX	0件 累計 282,000円	募金箱	6,436円 累計 208,345円

いたかというと、分別に関してはこの数を調べてどうするの?という気持ちがぬぐい切れずにやっておりましたから分別はしっかりしだけを念頭に、それ以上の感覚ではない自分がいました。

つらつらと批判じみた会話になっていくところですが、全員が意図や意義がわかって行動するのは大変すばらしいと思いますが、このような活動で全員が同じ目線であることはほぼありません。ただ多くの参加者に意図を伝えようすることは諦めてはいけない、もしこのことを事前に知っていたら当日その場は違う自分がいたのではと感じる自分が今いるということをお伝えしたくて会長の時間にさせていただきました。是非皆さんロータリーの中身を知っていきましょう。本日もよろしくお願ひします。

幹事報告

田口幸登幹事



・2023年6月の国際ロータリー為替レートは
 1 \$ = 140円となっています。

●結婚月

野田一考会員、大迫雅浩会員、島田博良会員
 田口幸登会員、池田靖洋会員



●誕生日

大田寛子会員、大迫雅浩会員、山口孝司会員
笹栗 康会員



●米山奨学金授与式

ロセリン イアオ メイ チンさん



ロータリー情報委員会

大迫三郎委員長



6月号のロータリーの友に面白い記事があります。

ものづくりの世界は中国一位、アメリカ二位、日本三位ですが、日本の生産性と海外への輸出量が減少。特に中国の生産量、輸出量は特出ですが、日本を見落としてならないのは製品にかかわる中国の生産品の基礎技術は日本からの流入のものであり、基礎的日本のものづくりの力を直すべきである。その為には本来の技術者の減少を立て直し、技術者養成に力を入れ数を増やさねばならない。技術大国日本の復活を期さねばならない。

年度末報告

職業奉仕委員会

島田博良委員長



職業奉仕委員会は高木副委員長が途中退会となり、松下委員と2名での運営となりました。

事業計画に則り職場訪問と職業奉仕賞の選考授与を行いました。

職場訪問では高岡の協立電機製作所、共立電照の工場見学を行いました。

宮崎でのモノ作りで、全国に発信する企業を見学でき有意義な時間となりました。

職業奉仕賞の選考授与では、宮崎で活躍する女性にスポットを当て、障害を持つお子様を育てながらその経験を活かし、同じ悩みを抱えるお母さんたちをサポートする事業を立ち上げた、「愛甲晃子」様を表彰することができました。

国際奉仕委員会

大田寛子委員長



今年度は高瀬副委員長、丸山会員の3人で運営してまいりました。

チェンマイ県オムコイ郡の看護師養成プロジェクトは今年の3月に奨学生が無事卒業し、看護師国家資格も一発合格してくれ、6月1日よりチェンマイランナー病院で勤務しております。

数年の経験を経て、オムコイで看護師として活躍してくれることと思います。

私の想いから始まったこのプロジェクトは、計画立案から地区補助金申請、奨学生就職まで約6年の道のりでした。

正直しんどい時もありましたが無事に完遂できたのは、皆さまのご指導・ご協力があってこそことです。

本当にありがとうございました。

青少年奉仕委員会

大浦秀幸委員長



今年度は、元矢野副委員長と中委員と黒田委員の3名で事業を行いました。

方針としまして少年サッカー大会を企画しスポーツを通じて青少年の健全を図ることをもとに、第43回宮崎南ロータリークラブ少年少女球技大会U10ジュニアサッカー大会を宮崎県サッカー協会キッズ委員会の協力をいただき、3月21日を予定していましたが悪天候のため延期となり、G・Wの5月5日に開催致しました。当日は10名の会員のご協力をいただき、大会のサポート役として運営して頂きました。今大会は小学校新4年生以下対象で6人制方式で計48チームの参加となりました。木花の県総合運動公園内で2会場にブロック分けをして競技しました。終了後、感想を聞き良かった点としまして、5~6年生の大会は多いが4年生以

クラブ奉仕委員会

井上竜志委員長



クラブ奉仕委員長、会長エレクトを兼任しております井上と申します。

クラブ奉仕は、奉仕活動を通してのクラブの活性化とサポートの活動を行うということでしたが、皆様の活動が素晴らしい、はたで見ているだけのことでした。その中でも、職業奉仕の職場訪問と青少年奉仕のサッカー大会では、二重のお弁当が出るなどの、会員に対しての奉仕も忘れずに、委員長さんたちの活動が、クラブの活性化につながっているのかなと、思った次第です。今回来られなかった会員の皆様は、次年度も楽しみにして、ぜひご参加下さい。一年間ありがとうございました。

次年度は会長の役ですので、どうぞ、ご協力賜りますよう、宜しくお願ひ致します。

インタークト委員会

谷口真樹委員長



インタークト委員会は、副委員に退会された山崎栄一郎君、委員に松田安典さんの3人体制委員会でございました。

本年度はじめに取り組んだことは、学校の顧問の先生と接見し、コミュニケーションを取ることでした。

その時の話では、そもそもロータリークラブあってのインタークトであることすら理解されていないようで、0からのスタートになると感じました。

連絡を入れても一方通行のことが多く、中々連絡が取れなかつたのですが、年末家族懇親会には、先生2名生徒3名の参加を頂くことができ、ようやく一歩進むことが出来た感じました。

次年度には田口委員長の元、副委員長として携わることになりますが、より良いコミュニケーションを取れるよう尽力したいと考えております。

社会奉仕委員会

田中靖彦委員長



社会奉仕委員会が毎年取り組んでいる福祉施設の児童たちへの新入学お祝いとしまして、新入学小学生には「靴」

新入学中学生には「文具券」の贈呈を行いました。

入学お祝いを行った施設は下記の通りです。

施設1：児童養護施設みんせいかん

施設2：カリタスの園児童養護施設

施設3：児童養護施設青島学園

施設4：さくら学園

毎年、入学お祝を行っておりますが、施設の子供たちの状況など知らないことがとても多い気がしました。

ただ単にお祝いを届けるだけでなく、もう少し施設の現状、子供たちが施設へ入所することになった経緯なども知ったうえで社会奉仕委員会の活動を行うべきなのかなと感じました。

次に、インタークト委員会とのジョイント活動奉仕を計画しておりましたが、足並みがそろわざ実施に至りませんでした。

宮崎南ロータリークラブ